

照陽の家だより

昨年12月に照陽の家相談員として職務にあたる事になりました奥田と申します。これまでは単独のサービスを組み合わせてケアプランを立案していくケアマネージャー業務でしたが照陽の家は4つのサービス(通い・泊り・訪問看護・訪問介護)をその状況に応じ判断して変更していく事が可能なサービスで、どちらもメリット、デメリットがありますが「住み慣れた地域で、自宅でその人らしく生活出来る」環境を皆さんと相談しながら創っていきたいと思います。さて、5月の運営推進会議の際、灘町自治会長 本村様より「灘町町内会の半分は65歳以上で51%、その半分は75歳以上」、また、長寿社会課の加納様から「米子市全体の高齢化率は29.4%」との話を伺いました。改めて調べてみますと、平成27年国勢調査時点で既に、灘町1丁目57.6%・2丁目41.1%・3丁目45.8%、角盤町1丁目35.0%・2丁目49.4%・3丁目47.4%・4丁目32.8%、錦町1丁目35.6%・2丁目37.2%・3丁目17.9%となっていました。

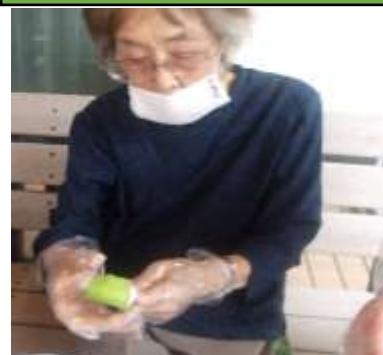
照陽の家だより5月号では「事業所が地域の一員として住民の方々と連動し見守り体制が構築でき『地域の助け合いを取り戻す機会』になれば」と地域の見守り体制の重要性を取り上げています。上記のような高齢化の実態を踏まえ、新型コロナウイルスの世界的大流行という誰もが初めて体験する災害の渦中で、事業所が地域の住民としてどのような取り組みができるのか具体的に模索していかなければならないと痛感しました。未だ「いつでも気軽にお立ち寄りください」とは言えない状況ですが、照陽の家が地域にとって「照陽の家があってよかった」「頼りになれる照陽の家」と言って頂けるよう職員一同、努力して参ります。お役に立てそうなことがあれば何なりとお声をおかけください。宜しくお願い致します。
(主任介護支援専門員・社会福祉士 奥田芳枝)

夏野菜を植えました！子供たちとトマトの競争！



夏に向けてかぼちゃ、スイカ、ナス、オクラ、ピーマンを植えています！夕方の時間になると「水やりをしておきたい」と進んで車いすで水やりをしてくださる人もいます。トマトはひなたぼっこ保育園の子供たちとどっちが大きく育つかたたいま、競争中です。

ち〜ま〜き食べ食べ♪ ~ちまき作り~



6月6日、照陽の家恒例行事の「ちまき作り」を実施しました！午前中からテラスにて作業開始！みなさん、黙々と作業にあたられ、ちまき40個以上を作りました。園児と一緒に作業はしばらく中止にしていますが出来上がったちまきはそれぞれのお部屋で美味しく頂きました。

ひなたぼっこ保育園の日常



今月の言葉 挫折から起き上がること。何度も這い上がることが大事なんだよ。 ~ホセ・ムヒカ~

照陽の家には訪問看護ステーションハートケアがあります。訪問看護とは看護師がご自宅を訪問し看護ケアを提供し療養生活を支援するサービスです。



6月作品紹介

子供たちが自由に創作したカタツムリ。葉っぱの傘が足形になっているところがキュート☆

貼り絵で合わせたきれいなアジサイ。かわいい傘とカタツムリが吊るしてあり梅雨入りが感じられる作品となりました！

